

海は語る への誘い

ふくいの歴史を足元から探る

はじめに

日本海に面した越前町では、これまで底曳き網漁などにより、海中から多くの土器や陶器が発見されています。また、日本海を通じた中国大陸や朝鮮半島との交流も活発におこなわれ、その痕跡を示す考古資料が本町をはじめとする福井県内で数多く出土しています。

そこで、教育委員会では数年にわたり、古代を中心とした海に関する考古資料の把握を目的とし、調査研究活動をおこなってきました。このたびの企画展覧会では、その成果を越前町織田文化歴史館で展示します。考古資料だけではなく、古文書や工芸品も取りあげます。

なかでも玄達瀬付近（福井県三国沖）で引き揚げた弥生土器は、日本海最古級のものとなります。また、当町の番城谷山5号墳出土の陶質土器は、朝鮮半島との交流を考えるうえで貴重な資料といえるでしょう。

初めて公開される資料もありますので、皆さん、お誘い合わせのうえ、ぜひご来館ください。



1. 番城谷山5号墳出土の陶質土器 4世紀

教育委員会の調査により、番城谷山5号墳から朝鮮半島南部に出自をもつ大甕（4世紀末）が出土しました。国内でも事例が少ないものです。この発見により、古墳の被葬者が朝鮮半島と交流をもった人物であることが分かりました（詳しくは、えちぜん年代記をご覧ください）。

みどころ

企画展覧会のみどころについて、いくつかのテーマを取りあげてご紹介いたします。町内の海に関する資料は、4月～9月のえちぜん年代記で紹介しています。

2. 中国からやって来た三翼鏃と三角鏃 紀元前3世紀

坂井市で出土したと伝えられる青銅製の鏃は、中国の秦代に製作されたものです。日本ではあまり出土例がなく、大変貴重なものです。なぜ福井県で出土したのでしょうか。全国に伝えられた「菘福伝説」とのつながりもうかがえます。



3. 日本海最古級の海揚がり弥生土器 紀元前3世紀

日本海では海中より土器や陶器が発見され、とくに三国港沖の玄達瀬や京都府経ヶ岬沖の浦島礁付近などで多く見つかっています。航海の安全を祈願するため、海の神さまに対して祀ったとされる痕跡も見受けられます。



4. 風巻神山4号墳出土の神人龍虎画家鏡 3世紀

福井市の風巻神山4号墳で発見された銅鏡に、東王父と西王母という神人と龍虎が描かれています。古代中国では、西王母が不老不死の仙薬をつくると信じられています。こうした考えを神仙思想と言い、丹生郡ゆかりの丹もその仙薬の材料とされています。

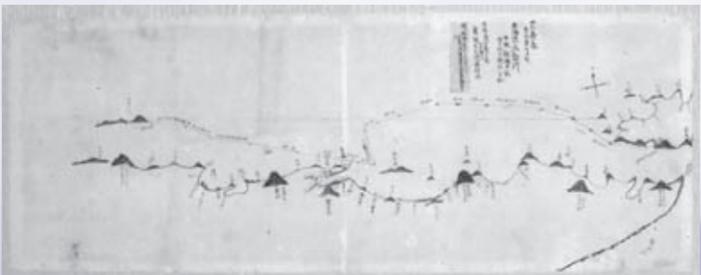
5. 土器に描かれた龍 2世紀

日本では1世紀になると「龍」を描いた土器が出土します。龍に対する信仰は中国で生まれて日本に伝わったといわれています。井戸や溝など水にまつわる場所から出ることが多く、水神として祀られていました。写真の土器片の線刻も福井市の寄安遺跡で出土したもので、龍の一部と考えられています。



6. 製塩遺跡と角鹿の塩 8～10世紀

福井県では多くの製塩遺跡が発見されており、とくに若狭湾沿岸は土器製塩の先進地域のひとつとして知られます。写真の土器片は塩づくり用のもので、敦賀市松原遺跡のもので、『日本書紀』に出てくる「角鹿（敦賀）の塩」の逸話は、越前や若狭から敦賀に集められた塩をモチーフにした伝説といえるでしょう。



7. 航路図と山アテ 明治時代

写真の「航路図」には、航海にあたり目標とした特徴的な山や岬・湾などが描かれています。福井県周辺では、白山・三国、越前岬や立石などがみえ、当時の航海者の地理認識を知るうえでも貴重な資料といえます。

会期中、展覧会の内容を深めるために、講演会を開催します。

【歴史講座】

日時 10月26日(土) 午後1時30分～午後3時
会場 織田文化歴史館 文化交流ホール
演題 「左右の筏ータビの人が見た越前海岸の暮らしー」
講師 元福井県立歴史博物館副館長 坂本育男さん

内容 日本列島において筏を使用するのは越前と対馬だけであり、当町には海と関わる独自の文化が存在しました。筏の製作や使用法は越前海岸における社会的な要因と密接に関連があり、その起源をみると、朝鮮半島とのつながりがうかがえます。これらの事例を具体的に検討し、その歴史的背景にせまります。

聴講料 無料

※ただし、歴史資料館の入館には観覧料が必要となります。

定員 先着50人

※事前申し込みは不要です。当日、会場にお越しください。

【記念講演会】

日時 11月24日(日) 午後1時30分～午後3時
会場 織田コミュニケーションセンター 多目的ホール

※会場にご注意ください。

講演題目 「越の古代と日本海」

講師 佛敎大学歴史学部教授 門田誠一さん

内容

織田文化歴史館企画展覧会では、中国大陸や朝鮮半島から渡来した考古資料を展示します。そこで、朝鮮半島の考古学を専門とする講師をお招きし、日本海を通じた朝鮮半島と日本との交流について、福井県を中心とした全国的な視点から、その歴史的な動向や背景にせまります。

聴講料 無料

定員 先着130人

※事前申し込みは不要です。当日、会場にお越しください。



企画展覧会の概要

会期：10月5日(土)～12月8日(日)
開館時間：午前10時～午後6時
(入館は閉館の30分前まで)
会場：織田文化歴史館 第1展示室
休館日：10月7日・15日・21日・28日
11月5日・11日・18日・25日
12月2日
観覧料：一般300円、団体(20人以上)
240円、中学生以下および
70歳以上は無料
後援：福井新聞社・NHK 福井放送局・
FBC 福井放送・福井テレビ・
丹南ケーブルテレビ
問合せ先：織田文化歴史館 ☎36-2288